

認定番号： 7 2

サポーター一名：一般社団法人みなみあそ観光局

取組実績

○2024年2月に完成した「阿蘇立野ダム」は白川流域の洪水調節を目的として建設されている。この立野ダムを起点として下流域である熊本市内の小中学校を主な対象とした水防災プログラムを開発し受付を行っており、河川事務所と連携しガイドは流域治水の講習を受けプログラム内容の充実化を図っている。

防災・土木

水災害への備え・流域治水を学ぶ阿蘇立野ダム見学プログラム

阿蘇カルデラから熊本市へと流れる一級河川「白川」。現在、その上流部となる阿蘇カルデラの外輪山の唯一の切れ目(立野峡谷)に2024年2月に完成した「阿蘇立野ダム」。白川沿川の洪水被害を防ぐための「洪水調節専用ダム」で、普段は水を貯めない「流水型あきダム」といった特徴があります。近年、豪雨・洪水が頻発しているからこそ一般の方からも注目を集める水防災の仕組み、そして過去の洪水被害を振り返り、水災害を「自分ごと」としてとらえ主体的に行動する流域治水の考え方を学びます。



阿蘇カルデラの切れ目に位置する立野ダム



2024年2月に完成



ガイドによる現場での解説



立体地図などを使った解説



過去発生災害からの学びと備え



学びのポイント

【プログラム内容】

ダム広報室見学…30分／ダム現場見学…30分

※2024年3月時点の内容です。

※人数・料金など詳細はお申込みの際に調整いたします。

【受入人数】 通年 1～2クラス程度(30名～)

【集合場所】 阿蘇立野ダム管理庁舎(熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野)

【所要時間】 60分

【料 金】 1人:500円(税込) 【対 象】熊本市内小中学校

【申込問合せ】 一般社団法人みなみあそ観光局(TEL: 0967-67-2222)